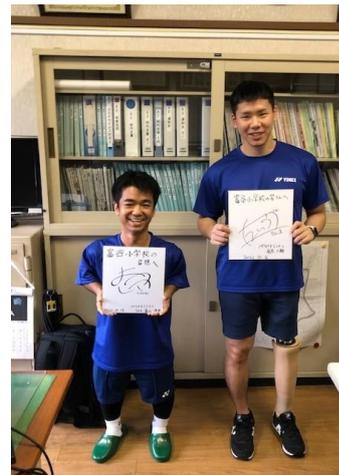


# 富谷小だより

渋谷区立  
富谷小  
学校通信

## オリ・パラ教育の集大成です ～パラバドミントン選手との交流を通して～

校長 博多 正勝



今年度の運動会は10月30日(土)に行います。当日の天候面を気にしながら運動会準備を行っています。緊急事態宣言が開けてはいますが、感染症対策を踏まえての実施となります。制限がいくつかかかっていることをご理解ください。

さて、9月の巻頭言ではお伝え出来なかったパラリンピック観戦について、本校のオリ・パラ教育も踏まえてお伝えします。富谷小学校は2年以上前から東京パラリンピックで、パラバドミントンを観戦することが決まっていた。令和元年には代々木競技場で開催されたパラバドミントンの大会に全校児童で参加し、競技の様子を体感出来ました。

しかし、令和2年からのコロナ禍により東京五輪が1年延期になり、交流を主としたオリ・パラ教育を行うことが難しくなりました。本校元校長の小林先生のご尽力により、本年7月にオンラインでパラバドミントン選手の畠山選手、島田選手との交流が実現。9月には感染症が心配される中であったため希望児童のみでしたが、東京パラリンピックの学校観戦を行うことができました。1時間ほどの観戦でしたが、子供たちは日本人選手の活躍に大きな拍手を送っていました。実はその試合に出場していた義足の選手(右から2番目の写真で上側の選手)は今回銅メダルをとった藤原選手で、このことは10月に本校で実施した「道徳授業地区公開講座」の講演会に畠山選手とともに藤原選手が来校された際、偶然知り得たことでした。驚きです。この写真を見た藤原選手はとても感動していました。

不思議な縁で繋がることのできたパラバドミントンの交流でしたが、これは、本校が何年もかけてオリンピック・パラリンピック教育を計画的に進めてきた結果でもあります。

道徳授業地区公開講座での講演会で、6年生児童が「共生社会の日本の現状」について畠山選手に質問した際、「スポーツを通して共生社会の大切さを伝えていきたい。」と話されていました。質問した児童はその後、「様々な立場の人に自分から声をかけて関わっていきたい。」との感想をもつことができました。オリ・パラ教育での多くの出会いによって、子供たちは素晴らしい財産を得ることができています。心に残る出会いを提供していただいた皆様方に感謝です。

「東京2020大会」のレガシーが、子供たちの人生の糧となり得るよう、オリ・パラ教育のまとめを進めるとともに、多様性を尊重し、共生社会の実現に向けた教育活動に取り組んでいきます。

## 1 1 月行事予定

日	曜	学 校 行 事 等
1	月	振替休業日
2	火	5 時間授業 避難訓練 特支面談①
3	水	文化の日 東京都教育の日
4	木	安全指導 和菓子食育授業(6 年)
5	金	5 時間授業 社会科見学(4 年) 特支面談②
6	土	
7	日	
8	月	児童朝会 歯科(5・6 年) 委員会活動⑦
9	火	
10	水	体育朝会
11	木	5 時間授業 特支面談③ こころの劇場オンライン(6 年)
12	金	渋谷タブレットの日(参観なし) 4 時間授業
13	土	
14	日	
15	月	開校記念集会 歯科(3・4 年、いずみ) クラブ活動⑦ 日光高原学園事前健診(6 年)
16	火	5 時間授業 日光高原学園始(6 年) 特支面談④
17	水	開校記念日 日光高原学園終(6 年)
18	木	5 時間授業 学習発表会特別時程始 特支面談⑤ 休業日(6 年)
19	金	5 時間授業 学習発表会会場準備(6 年) 特支面談⑥
20	土	土曜日授業 歯科指導(1 年)
21	日	
22	月	児童朝会 クラブ活動⑧
23	火	勤労感謝の日
24	水	なかよし班活動 (1 年 1 組は研究授業のため 5 時間授業)
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	児童朝会 委員会活動⑧
30	火	

### 【1 2 月の主な行事予定】

- 3 日 (金) 学習発表会児童鑑賞日
- 4 日 (土) 学習発表会保護者鑑賞日(5 時間授業で給食があります)
- 6 日 (月) 振替休業日
- 8 日 (水) 5-3 研究授業のため 5 時間授業
- 9 日 (木) ~21 日 (火) 個人面談、5 時間授業(15 日は 4 時間授業)
- 16 日 (金) 校外学習(いずみ)
- 23 日 (木) 社会科見学(6 年)
- 24 日 (金) 4 時間授業、終わりの会、給食終

### 【道徳授業地区公開講座】

10月16日(土)に、道徳地区公開講座を行いました。ご参観、ありがとうございました。児童たちは、その時間のめあてについて、自分事として捉え、これからの生活に生かそうと考えを深めていました。



4 時間目には、パラバドミントン選手の藤原大輔選手(東京パラリンピック混合ダブルス銅メダリスト)と畠山洋平選手をお招きし、「あきらめずに挑戦」と題し、ご講演をいただきました。全力で出し切ることや努力し続けることの大切さ、思い通りにいかない苦しい場面でも逃げない気持ちをもつことの大切さなどについての実感のこもったお話に、児童たちは真剣に耳を傾けていました。5・6 年生からは、「競技を続ける原動力は。」「座右の銘は。」などの質問も上がり、活発な講演会となりました。

